

平成20年度  
《特別奨学生試験》  
《第二回》

# 社 会

時間は理科と社会あわせて40分、各50点満点

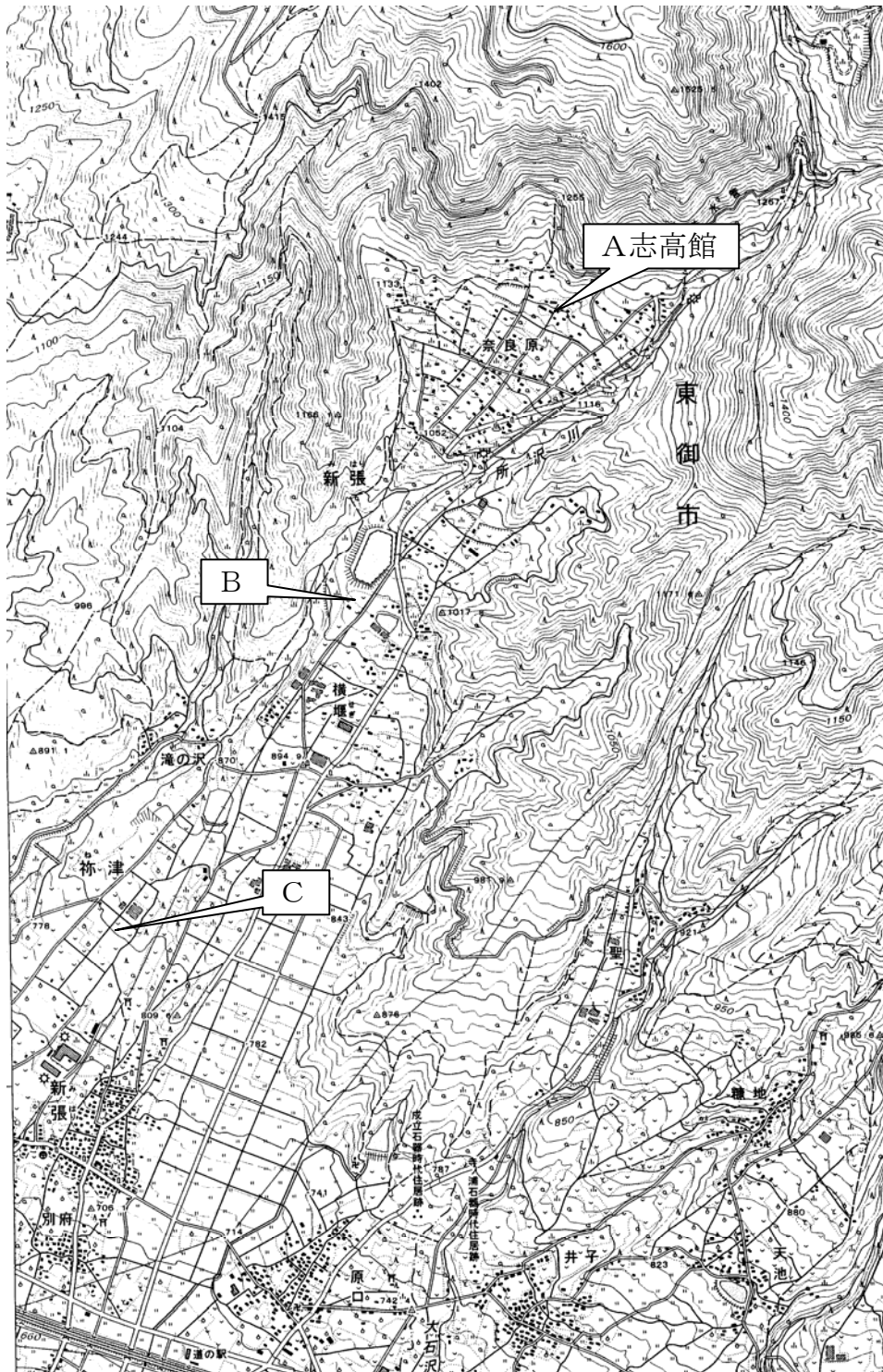
## 受験上の注意



1. 解答用紙には、受験番号・氏名を記入してください。
2. 解答は、解答用紙の所定のところに記入してください。  
記入方法を誤ると得点になりません。
3. 試験終了の合図とともに、解答用紙・問題用紙とも  
提出してください。

郁文館中学校

郁文館夢学園では、長野県東御市にある「志高館」で、全ての学年が10泊11日（中学1年生のみ5泊6日）の「夢合宿」を行うことになっています。これに関連して、長野県についての問題に答えなさい。

1 次の地図は志高館周辺の地図です。これを見て、あとの問いに答えなさい。



- ①地形図中の  の地図記号は何をあらわしていますか。漢字で答えなさい。
- ②地形図中の  の地図記号は何をあらわしていますか。漢字で答えなさい。
- ③地形図中の所沢川はどちらの方向に流れていますか、八方位で答えなさい。
- ④地形図中の「志高館」AからBまでの距離は地形図中で約5 cm あります。実際の距離は何キロメートルですか。
- ⑤「志高館」の標高は約何メートルですか。地図中から読み取りなさい。
- ⑥「志高館」AからCまでの標高の落差は何メートルありますか。地図中から読み取りなさい。

**2** 長野県（信濃国）に関する歴史を述べた次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

今から約1千3百年前ごろ、①日本では中国から学んだ法律によって政治が行われるようになりました。奈良の都を中心に全国は60以上の国々からなり、信濃国もその一つとなりました。信濃国内は10郡に分れ、政府から派遣された国司のもとで地元の有力な豪族から選ばれた郡司が各郡の政治を行いました。②人びとは国や郡に税として稲を納め、国司や郡司に従って特産物を郡に運びました。なかでも麻布は信濃国の特産で、奈良市の東大寺にある校倉造で有名な【イ】には、信濃産の麻布や、それで作られた布袴が今でも伝わっています。また、有数の馬の産地であった信濃には、各地に牧が設けられ、多くの良馬が生産されました。選ばれた馬たちは、信濃を含む東国と都とを結ぶ東山道を通って都へとひかれていきました。

8世紀の終わりには今の京都市に都が遷りました。この③平安時代には、郡司などの豪族たちに加えて、信濃国各地で豊かな財産を蓄えた農民たちが力をつけていきました。彼らは村をまとめ、都の貴族や大寺社が信濃に所有する領地を管理したり、税の徴収などに関わるようになりました。

やがて武士の時代になると、良馬の産地である信濃では、④武士たちは強力な騎兵として力をふるいました。

12世紀に鎌倉幕府を打ち立てた源頼朝は、公家と武家の共存の道を選び、信濃の武士団は関東出身の有力【ロ】の支配下に入ります。頼朝の死後、鎌倉幕府の執権【ハ】氏が守護として信濃を支配するようになると、信濃の武士団をとりまとめるために、善光寺や諏訪大社に対する信仰を利用しました。そのこともあって、この時代、善光寺や諏訪大社は全国にその信仰を広げました。

鎌倉幕府が倒れ、南北朝時代、⑤室町時代になると、諏訪氏や村上氏などの国人たちは鎌倉府と結んで、京の室町幕府や守護小笠原氏の支配に抵抗しました。とりわけ、1400年におこった大塔合戦は、信濃の国人らが一揆を組み、小笠原氏を守護の地位から追い落とした戦いでした。自立性の強かった信濃の武士たちのもとでは、ついに守護による信濃の安定した支配が実現せず、⑥いち早く戦国の争乱へと向かうことになりました。

（長野県公式ホームページ「信州の歴史」より作成）

問1 文中の空欄【イ】と【ハ】に入る最も適切な言葉を漢字で答えなさい。

問2 文中の空欄【ロ】に入る言葉として最も適切なものを、下の(ア)～(エ)の中から一つ選び記号で答えなさい。

- |         |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|
| (ア) 御家人 | (イ) 国司 | (ウ) 大名 | (エ) 管領 |
|---------|--------|--------|--------|

問3 下線部①に関して、701年につくられた法律を何といいますか。

問4 下線部②のような税を何といいますか。漢字1字で答えなさい。

問5 下線部③に関して、11世紀前半頃に都で行われていた政治を何といいますか。漢字で書きなさい。

問6 下線部④に関して、鎌倉幕府成立のさきがけとなった源平合戦に際して、信濃で挙兵したのは誰ですか。下の(ア)～(エ)の中から一つ選び記号で答えなさい。

(ア) 平清盛 (イ) 源頼政 (ウ) 源義仲 (エ) 平将門

問7 下線部⑤の室町時代にあてはまる出来事を、下の(ア)～(エ)の中から一つ選び記号で答えなさい。

(ア) 関ヶ原の戦い (イ) 勘合貿易 (ウ) 大化の改新 (エ) 平泉中尊寺の建立

問8 下線部⑥戦国時代、信濃の支配をめぐる争った戦国大名は誰ですか。下の(ア)～(エ)の中から一つ選び記号で答えなさい。

(ア) 今川氏と織田氏 (イ) 毛利氏と尼子氏  
(ウ) 武田氏と上杉氏 (エ) 浅井氏と朝倉氏

3 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

わが国は世界有数の火山国であり、地震の多い国です。そのため、古来から大きな地震や火山の噴火などの災害に見舞われてきました。

歴史的に大きな噴火や経歴をもつ火山として有名なのは阿蘇山と浅間山です。浅間山は標高2542メートル、長野県と群馬県との境に位置する火山です。浅間山噴火の歴史は古く、『日本書紀』の記述が最初と言われます。その後何度も噴火を重ね、特に大きなものは、江戸時代の天明3年(1783年)に起きた噴火です。この時の被害は大きなものでしたが、この年の前年からはじまる冷害・多雨と重なり、「ききん」が起きました。これが「①天明の大ききん」です。このききんでは東北地方の農村を中心に全国で数万人が餓死したと②杉田玄白がその著書の中で伝えています。その後、③荒廃した農村部を中心に疫病もまんえんし、餓死者とあわせて30万人が死亡しました。このため、社会が大混乱しました。

長野県は日本列島の中央部に位置し、最も高い山々を有する土地です。このため、ひとたび地震や噴火などの災害に見舞われると、周囲との交通や連絡が途絶え、そのために被害が拡大する傾向があります。特に、この④地方の地形や気候などを考えると、災害に対する対応だけでなくいかにしてライフラインを維持するかが大きな問題です。

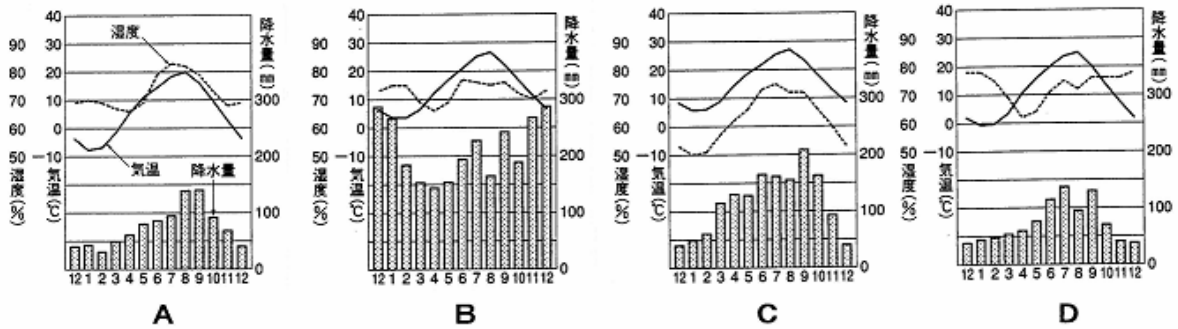
昨年も新潟中越沖地震が起これ、長野県も大きな被害を受けたことはみなさんをご存知のことと思います。こうした⑤災害に対する対策は国の政策だけでなく、その土地で生活する人々全員が考えなければなりません。

問1 下線部①で、「天明のききん」が起きた時に老中だった人物は誰ですか。また、彼の政策はどのようなものでしたか。簡単に説明しなさい。

問2 下線部②で、杉田玄白が翻訳した書物を答えなさい。

問3 下線部③で、現在の日本ではこうした大量の死者がでることは考えられません。江戸時代と現代の社会の違いを考えて、その理由を説明しなさい。

問4 下線部④で、この地方の気候をあらわしたグラフを一つ選びなさい。



『日本国勢図絵 2006/07』より

問5 下線部⑤で、もしもあなたが長野県知事だとしたならば、このように大きな災害（地震）が起きた時に、どのような対策をとるかを、具体的に書きなさい。